

区分：総合科学

授業科目名	平和講座					学期	曜日	校時
英語名	On the Peace					前期 後期 後期	金曜日	校時 校時 校時
オーガナイザー名	舟越 耿一	単位数	2単位	必修 選択	選択		火曜日 木曜日	
授 業 担 当 教 官								
安部 俊二、生野 正剛、岩松 繁俊、三根 真理子、貞森 直樹、高實 康稔、高橋 眞司、戸田 清、葛西よう子、藤澤 秀雄								
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>この文教地区は、三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された若き男女が航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死しました。敗戦後、日本は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」安全と生存を保持しようと決意しました。本講座はその決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく基礎的資料と基本的な分析論理を提供しようとするものです。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またビデオやスライドなどを利用して講義の理解を深めるのに役立つ。								
対象学生	成績評価の方法					オーガナイザー研究室		
全学部	課題レポートと出席の状況を考慮して行う。							
授 業 計 画								
授業内容は次のとおり。授業は各クラスとも5名乃至6名の講師によって分担して行われる。								
Aクラス 前期金曜日 校時			Bクラス 後期火曜日 校時			Cクラス 後期木曜日 校時		
4月11日	藤澤 秀雄		10月07日	藤澤 秀雄		10月02日	藤澤 秀雄	
4月18日	貞森 直樹		10月14日	安部 俊二		10月09日	藤澤 秀雄	
4月25日	貞森 直樹		10月21日	安部 俊二		10月16日	貞森 直樹	
5月02日	高橋 眞司		10月28日	高實 康稔		10月23日	貞森 直樹	
5月09日	高橋 眞司		11月04日	高實 康稔		10月30日	藤澤 秀雄	
5月16日	安部 俊二		11月11日	藤澤 秀雄		11月06日	藤澤 秀雄	
5月23日	安部 俊二		11月18日	藤澤 秀雄		11月13日	三根真理子	
5月30日	岩松 繁俊		11月25日	葛西よう子		11月20日	三根真理子	
6月06日	岩松 繁俊		12月02日	葛西よう子		11月27日	岩松 繁俊	
6月13日	岩松 繁俊		12月09日	藤澤 秀雄		12月04日	岩松 繁俊	
6月20日	葛西よう子		12月16日	藤澤 秀雄		12月11日	岩松 繁俊	
6月27日	葛西よう子		1月13日	戸田 清		12月18日	生野 正剛	
7月04日	葛西よう子		1月20日	戸田 清		1月08日	生野 正剛	
7月11日	葛西よう子		1月27日	藤澤 秀雄		1月15日	藤澤 秀雄	
7月18日	藤澤 秀雄							

次項へ続く

授 業 計 画

講 師 名 講 義 題 目

安部 俊二 100年遅れのアヘン戦争としての15年戦争

生野 正剛 外国人労働者の人権

岩松 繁俊 アメリカ合衆国の日本の都市への原爆投下の目的、ソビエト社会主義共和国連邦(現ロシア)の対日参戦と日本の無条件降伏、天皇制問題、日本の戦争責任とアメリカの戦争責任
原爆と原発との関係、被爆国日本の原発推進政策
核による人類破滅の危機、ラッセル・アインシュタイン宣言、反核・非核の運動

葛西よう子 戦争と女性
戦争被害者としての女性 - 慰安婦、従軍看護婦、勤労働員、中国よりの引き揚げ、戦争未亡人と出征中の妻(2回にわけて実施する予定)
戦争加害者としての女性 - 愛国、国防婦人会における戦争協力、参政権運動をたたかっている婦人達の国家意識と戦争協力
戦争遂行のための国家の女性観 - 第2次世界大戦~コソボ~アフガニスタンまで

貞森 直樹 原爆症の医学

高實 康稔 朝鮮人被爆者と日本の責任

高橋 眞司 核時代の死と生
永井隆と浦上燐祭説
戦争と平和 - 九段階接合理論

戸田 清 軍事活動に伴う環境破壊
構造的暴力とは何か

三根真理子 長崎原爆と医科大学
原爆直後の調査
被爆者の健康管理

藤澤 秀雄 開講にあたって
課題レポート(戦争体験の聞き取り)について
ビデオの上映とその解説 - 日本の戦争、アメリカの戦争、その他